

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成31年2月28日(2019.2.28)

【公表番号】特表2018-535269(P2018-535269A)

【公表日】平成30年11月29日(2018.11.29)

【年通号数】公開・登録公報2018-046

【出願番号】特願2018-546409(P2018-546409)

【国際特許分類】

A 6 1 K	8/41	(2006.01)
A 6 1 Q	5/12	(2006.01)
A 6 1 Q	5/10	(2006.01)
A 6 1 Q	5/00	(2006.01)
A 6 1 Q	5/06	(2006.01)
A 6 1 K	8/362	(2006.01)
A 6 1 K	8/365	(2006.01)
A 6 1 K	8/368	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	8/41
A 6 1 Q	5/12
A 6 1 Q	5/10
A 6 1 Q	5/00
A 6 1 Q	5/06
A 6 1 K	8/362
A 6 1 K	8/365
A 6 1 K	8/368

【手続補正書】

【提出日】平成31年1月21日(2019.1.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

2-(2-アミノエトキシ)エタノールと；

マレイン酸、シュウ酸、マロン酸、リンゴ酸、グルタル酸、シトラコン酸、クエン酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、フマル酸、セバシン酸、安息香酸、及びグリオキシル酸一水和物、並びにそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と；

少なくとも1つの溶媒、少なくとも1つの添加剤、又はこれらの組み合わせとを含む、毛髪用組成物。

【請求項2】

少なくとも1つのカルボン酸が、クエン酸、マロン酸、シュウ酸、リンゴ酸、グルタル酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、セバシン酸、グリオキシル酸一水和物、及びそれらの組み合わせから選択される、又は、少なくとも1つのカルボン酸が、マレイン酸、シトラコン酸、フマル酸、安息香酸、及びそれらの組み合わせから選択され、好ましくは、少なくとも1つのカルボン酸が、シュウ酸、リンゴ酸、及びそれらの組み合わせから選択される、請求項1に記載の毛髪用組成物。

**【請求項3】**

少なくとも1つのカルボン酸が、毛髪用組成物の質量に対して、約30質量%までの量で存在する、請求項1又は2に記載の毛髪用組成物。

**【請求項4】**

2-(2-アミノエトキシ)エタノールが、毛髪用組成物の質量に対して、約15質量%までの範囲の量で存在する、請求項1~3のいずれか一項に記載の毛髪用組成物。

**【請求項5】**

溶媒が、水、美容上許容できる有機溶媒、及びそれらの組み合わせから選択される、請求項1~4のいずれか一項に記載の毛髪用組成物。

**【請求項6】**

少なくとも1つの添加剤が、界面活性剤、溶媒、及び/又はコンディショニング剤から選択される、請求項1~4のいずれか一項に記載の毛髪用組成物。

**【請求項7】**

(a)2-(2-アミノエトキシ)エタノールと；

マレイン酸、シュウ酸、マロン酸、リンゴ酸、グルタル酸、シトラコン酸、クエン酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、フマル酸、セバシン酸、安息香酸及びグリオキシル酸一水和物、並びにそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と；

少なくとも1つの溶媒と、を含む毛髪処置組成物、並びに

(b)2-(2-アミノエトキシ)エタノールと；

マレイン酸、シュウ酸、マロン酸、リンゴ酸、グルタル酸、シトラコン酸、クエン酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、フマル酸、セバシン酸、安息香酸及びグリオキシル酸一水和物、並びにそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と；

少なくとも1つの添加剤と、を含む毛髪コンディショニング組成物を含む、毛髪処置系。

**【請求項8】**

毛髪処置組成物及び/又は毛髪コンディショニング組成物に存在する少なくとも1つのカルボン酸が、独立して、クエン酸、マロン酸、シュウ酸、リンゴ酸、グルタル酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、セバシン酸、グリオキシル酸一水和物、及びそれらの組み合わせから選択される、又は、毛髪処置組成物及び/又は毛髪コンディショニング組成物に存在する少なくとも1つのカルボン酸が、独立して、シュウ酸、リンゴ酸、マレイン酸、及びそれらの組み合わせから選択される、又は、毛髪処置組成物及び/又は毛髪コンディショニング組成物に存在する少なくとも1つのカルボン酸が、独立して、マレイン酸、シトラコン酸、フマル酸、安息香酸、及びそれらの組み合わせから選択される、請求項7に記載の毛髪処置系。

**【請求項9】**

毛髪を着色する又は整形するための組成物又は作用剤を更に含み、好ましくは、毛髪を着色する又は整形するための組成物が、前記毛髪処置組成物を含み、より好ましくは、毛髪を着色するための作用剤が、ブリーチ剤、着色剤化合物若しくはそれらの組み合わせから選択され、好ましくは、前記着色剤化合物が、酸化染料、直接染料、顔料、及びそれらの混合物から選択され、且つ/又は前記毛髪を整形するための作用剤が、毛髪をストレート化する、リラクシングする若しくはパーマネントウェーブをかけるための作用剤から選択され、好ましくは、前記ブリーチ剤が過酸化物、パーサルフェート、パーボレート、パー-カ-ボネート、過酸、プロメート、それらの塩、及びそれらの混合物から選択される、請求項7又は8に記載の毛髪処置系。

**【請求項10】**

(a)2-(2-アミノエトキシ)エタノールと；

シュウ酸及びリンゴ酸から選択される少なくとも1つのカルボン酸と；

少なくとも1つの溶媒と、を含む毛髪処置組成物；並びに

(b)2-(2-アミノエトキシ)エタノールと；

  シユウ酸及びリンゴ酸、好ましくはリンゴ酸から選択される少なくとも1つのカルボン酸と；

  少なくとも1つの添加剤と、を含む毛髪コンディショニング組成物を含む、毛髪処置系。

【請求項11】

  毛髪を着色する又は整形するための組成物又は作用剤を更に含む、請求項10に記載の毛髪処置系。

【請求項12】

  毛髪を処置する方法であって、

(a)2-(2-アミノエトキシ)エタノールと；

  マレイン酸、シユウ酸、マロン酸、リンゴ酸、グルタル酸、シトラコン酸、クエン酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、フマル酸、セバシン酸、安息香酸及びグリオキシル酸一水和物、並びにそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と；

  少なくとも1つの溶媒と、を含む毛髪処置組成物を毛髪に適用する工程；並びに

(b)任意選択で、毛髪をシャンプーする、且つ/又はすすぐ工程；

(c)2-(2-アミノエトキシ)エタノールと；

  マレイン酸、シユウ酸、マロン酸、リンゴ酸、グルタル酸、シトラコン酸、クエン酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、フマル酸、セバシン酸、安息香酸及びグリオキシル酸一水和物、並びにそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と；

  少なくとも1つの添加剤と、を含む毛髪コンディショニング組成物を毛髪に適用する工程；並びに

(d)任意選択で、毛髪をシャンプーする、且つ/又はすすぐ工程を含む、方法。

【請求項13】

  毛髪処置組成物及び/又は毛髪コンディショニング組成物に存在する少なくとも1つのカルボン酸が、独立して、シユウ酸、リンゴ酸、マレイン酸、及びそれらの組み合わせから選択される、請求項12に記載の方法。

【請求項14】

  毛髪処置組成物が、毛髪を着色する又は整形するための組成物又は作用剤を更に含み、好ましくは、毛髪を着色するための組成物が、少なくとも1つのブリーチ剤、少なくとも1つの着色剤化合物、又はそれらの組み合わせを含み、

  より好ましくは、少なくとも1つのブリーチ剤が、過酸化物、パーサルフェート、パーボレート、パーカーボネート、過酸、プロメート、それらの塩、及びそれらの混合物から選択され；少なくとも1つの着色剤化合物が、酸化染料、直接染料、顔料、及びそれらの混合物から選択される、請求項12又は13に記載の方法。

【請求項15】

  毛髪の色味を変更する方法であって、

(a)2-(2-アミノエトキシ)エタノールと；

  マレイン酸、シユウ酸、マロン酸、リンゴ酸、グルタル酸、シトラコン酸、クエン酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、フマル酸、セバシン酸、安息香酸及びグリオキシル酸一水和物、並びにそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と；

  少なくとも1つの溶媒と、を含む処置組成物を毛髪に適用する工程；

(b)任意選択で、毛髪をシャンプーする、且つ/又はすすぐ工程；

(c)少なくとも1つのブリーチ剤、少なくとも1つの着色剤化合物、又はそれらの組み合わせを含む、色味変更組成物を、毛髪処置組成物の適用の前、後、又は適用と同時に、毛髪に適用する工程；

(d)任意選択で、毛髪をシャンプーする、且つ/又はすすぐ工程；

(e)2-(2-アミノエトキシ)エタノールと；

マレイン酸、シュウ酸、マロン酸、リンゴ酸、グルタル酸、シトラコン酸、クエン酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、フマル酸、セバシン酸、安息香酸及びグリオキシル酸一水和物、並びにそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と；

少なくとも1つの添加剤と、を含む毛髪コンディショニング組成物を毛髪に適用する工程；並びに

(f)任意選択で、毛髪をシャンプーする、且つ/又はすすぐ工程を含む、方法。

#### 【請求項16】

毛髪を処置する方法であって、

(a)2-(2-アミノエトキシ)エタノールと；

シュウ酸、リンゴ酸、及びそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と；

少なくとも1つの溶媒と、を含む毛髪処置組成物を毛髪に適用する工程；

(b)任意選択で、毛髪をシャンプーする、且つ/又はすすぐ工程；

(c)2-(2-アミノエトキシ)エタノールと；

シュウ酸、リンゴ酸、及びそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と；

少なくとも1つの添加剤と、を含む毛髪コンディショニング組成物を毛髪に適用する工程；及び

(d)任意選択で、毛髪をシャンプーする、且つ/又はすすぐ工程を含む、方法。

#### 【請求項17】

毛髪の色味を変更する方法であって、

(a)2-(2-アミノエトキシ)エタノールと；

シュウ酸、リンゴ酸、及びそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と；

少なくとも1つの溶媒と、を含む処置組成物を毛髪に適用する工程；

(b)任意選択で、毛髪をシャンプーする、且つ/又はすすぐ工程；

(c)少なくとも1つのブリーチ剤、少なくとも1つの着色剤化合物、又はそれらの組み合わせを含む色味変更組成物を、毛髪処置組成物の適用の前、後、又は適用と同時に、毛髪に適用する工程；

(d)任意選択で、毛髪をシャンプーする、且つ/又はすすぐ工程；

(e)2-(2-アミノエトキシ)エタノールと；

シュウ酸、リンゴ酸、及びそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と；

少なくとも1つの添加剤と、を含む毛髪コンディショニング組成物を毛髪に適用する工程；及び

(f)任意選択で、毛髪をシャンプーする、且つ/又はすすぐ工程を含む、方法。

#### 【請求項18】

毛髪の色味又は形状を変更するための多区画キットであって、

(a)2-(2-アミノエトキシ)エタノールと；

マレイン酸、シュウ酸、マロン酸、リンゴ酸、グルタル酸、シトラコン酸、クエン酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、フマル酸、セバシン酸、安息香酸及びグリオキシル酸一水和物、並びにそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と；

少なくとも1つの溶媒と、を含む毛髪処置組成物を含有する第1の区画；

(b)2-(2-アミノエトキシ)エタノールと;

マレイン酸、シュウ酸、マロン酸、リンゴ酸、グルタル酸、シトラコン酸、クエン酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、フマル酸、セバシン酸、安息香酸及びグリオキシル酸一水和物、並びにそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と;

少なくとも1つの添加剤と、を含む毛髪コンディショニング組成物を含有する第2の区画;並びに

(c)任意選択で、毛髪を着色する又は整形するための少なくとも1つの作用剤を含有する1つ又は複数の追加区画

を含む、キット。

【請求項19】

毛髪の色味又は形状を変更するための多区画キットであって、

(a)2-(2-アミノエトキシ)エタノールと;

シュウ酸、リンゴ酸、及びそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と;

少なくとも1つの溶媒と、を含む毛髪処置組成物を含有する第1の区画;

(b)2-(2-アミノエトキシ)エタノールと;

シュウ酸、リンゴ酸、マレイン酸、及びそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と;

少なくとも1つの添加剤と、を含む毛髪コンディショニング組成物を含有する第2の区画;及び

任意選択で、毛髪を着色する又は整形するための少なくとも1つの作用剤を含有する1つ又は複数の追加区画

を含む、キット。

【請求項20】

毛髪を処置するための方法であって、

(a)整髪プロセスの還元工程に続いて、処置組成物を毛髪に適用する工程であって、処置組成物が、

2-(2-アミノエトキシ)エタノールと;

マレイン酸、シュウ酸、マロン酸、リンゴ酸、グルタル酸、シトラコン酸、クエン酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、フマル酸、セバシン酸、安息香酸及びグリオキシル酸一水和物、並びにそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と;

少なくとも1つの溶媒と、を含む、工程;

(b)任意選択で、約5~20分の処理時間にわたって処置組成物を毛髪に留まらせる工程;

(c)任意選択で、毛髪を拭く、又はすすぐ工程;並びに

(d)コンディショニング組成物を毛髪に適用する工程であって、コンディショニング組成物が、

2-(2-アミノエトキシ)エタノールと;

マレイン酸、シュウ酸、マロン酸、リンゴ酸、グルタル酸、シトラコン酸、クエン酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、フマル酸、セバシン酸、安息香酸及びグリオキシル酸一水和物、並びにそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と;

少なくとも1つの添加剤と、を含む工程;並びに

(e)任意選択で、毛髪をシャンプーする、且つ/又はすすぐ工程を含む、方法。

【請求項21】

毛髪処置組成物及び/又は毛髪コンディショニング組成物に存在する少なくとも1つのカルボン酸が、独立して、クエン酸、マロン酸、シュウ酸、リンゴ酸、グルタル酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、セバシン酸、グリオキシル酸一水和物、及びそ

これらの組み合わせから選択される、又は、毛髪処置組成物及び/又は毛髪コンディショニング組成物に存在する少なくとも1つのカルボン酸が、独立して、シウ酸、リンゴ酸、マレイン酸、及びそれらの組み合わせから選択される、又は、毛髪処置組成物及び/又は毛髪コンディショニング組成物に存在する少なくとも1つのカルボン酸が、独立して、マレイン酸、シトラコン酸、フマル酸、安息香酸、及びそれらの組み合わせから選択される請求項20に記載の方法。

【請求項22】

毛髪を処置する方法であって、

(a)2-(2-アミノエトキシ)エタノールと；

シウ酸、マロン酸、リンゴ酸、グルタル酸、シトラコン酸、クエン酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、フマル酸、マレイン酸、セバシン酸、安息香酸及びグリオキシル酸一水和物、並びにそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と；

少なくとも1つの溶媒と、を含む毛髪処置組成物を毛髪に適用する工程を含む、方法。

【請求項23】

前記処置組成物が、毛髪の色味を変更するための少なくとも1つの作用剤を更に含み、好ましくは、毛髪の色味を変更するための作用剤が、過酸化物、パーサルフェート、パーボレート、パーカーボネート、過酸、プロメート、それらの塩、及びそれらの混合物から選択されるブリーチ剤から選択され、より好ましくは、毛髪の色味を変更するための作用剤、又は毛髪の色味を変更するための作用剤を含む組成物が、毛髪に適用される前に前記処置組成物と混合され、より好ましくは、混合する工程が、混合物を毛髪に適用する1時間未満前に行われる、請求項22に記載の方法。

【請求項24】

毛髪の色味を変更する方法であって、

(a)(1)2-(2-アミノエトキシ)エタノールと；

シウ酸、マロン酸、リンゴ酸、グルタル酸、シトラコン酸、クエン酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、フマル酸、マレイン酸、セバシン酸、安息香酸及びグリオキシル酸一水和物、並びにそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と；

少なくとも1つの溶媒と；

毛髪の色味を変更するための少なくとも1つの作用剤と、を含む処置組成物を毛髪の一部に適用する工程；

(a)(2)2-(2-アミノエトキシ)エタノールと；

シウ酸、マロン酸、リンゴ酸、グルタル酸、シトラコン酸、クエン酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、フマル酸、マレイン酸、セバシン酸、安息香酸及びグリオキシル酸一水和物、並びにそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と；

少なくとも1つの溶媒と、を含む処置組成物を毛髪の一部に適用する工程であって；

(a)(1)の部分及び(a)(2)の部分が、本質的に、毛髪の異なる部分からなる、工程；

(b)任意選択で、毛髪をシャンプーする、且つ/又はすぐ工程；

(c)任意選択で、毛髪コンディショニング組成物を毛髪に適用する工程であって、毛髪コンディショニング組成物が、

2-(2-アミノエトキシ)エタノールと；

シウ酸、マロン酸、リンゴ酸、グルタル酸、シトラコン酸、クエン酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、フマル酸、マレイン酸、セバシン酸、安息香酸及びグリオキシル酸一水和物、並びにそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と；

少なくとも1つの添加剤と、を含む、工程；並びに

(d)任意選択で、毛髪をシャンプーする、且つ/又はすぐ工程

を含む、方法。